

第2回公立大学分科会における業務実績評価(素案)からの修正案

資料1

	No.	頁	該当箇所	評価素案	修正案	修正理由
全体評価	1	3	1 総評	(2つ目の・) ・そして、公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)が設置する・・・首都大における海外プロモーション活動の充実など国際化の一層の推進、若手研究者の支援強化、産技大における・・・	(2つ目の・) ・そして、公立大学法人首都大学東京(以下「法人」という。)が設置する・・・首都大における 教育・研究組織の再編成案の取りまとめ 、海外プロモーション活動の充実など国際化の一層の推進、若手研究者の支援強化、産技大における・・・	分科会での議論を踏まえ追記
	2	4	2 教育研究について(社会貢献も含む)	(2つ目の・) ・学生支援については、 学生の確保から、キャリア形成支援に至るまで、また 障害のある学生、悩みを抱えた学生、留学生、 産技高専 の女子学生など、多様化する学生のニーズにも積極的に対応していることは評価できる。	(2つ目の・) ・学生支援については、障害のある学生、悩みを抱えた学生、留学生、 理系 女子学生など、多様化する学生のニーズにも積極的に対応していることは評価できる。	文言整理
	3			(5つ目の・) ・同一法人の下に3つの高等教育機関を有することの強みをより発揮すれば、・・・	(5つ目の・) ・同一法人の下に3つの高等教育機関を有することの強みをより 一層 発揮すれば、・・・	文言整理
	4			(首都大学東京について) (4つ目の・) ・研究力向上や研究成果につなげるための取組として、・・・また、先端的・学際的な研究推進のための方策として、6つの研究センターを を 設立し、組織的な研究活動を展開したことに加え、・・・	(4つ目の・) ・研究力向上や研究成果につなげるための取組として、・・・また、先端的・学際的な研究推進のための方策として、6つの研究センターの 設立を決定し 、組織的な研究活動を展開したことに加え、・・・	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正
	5	5	(産業技術大学院大学について) (2つ目の・) ・情報アーキテクチャ専攻が受審した、・・・社会の要請を学修教育目標及び育成する人材像に反映させ、 育成する人材像 に必要な知識・スキルの定義の明確化や・・・	(2つ目の・) ・情報アーキテクチャ専攻が受審した、・・・社会の要請を学修教育目標及び育成する人材像に反映させ、必要な知識・スキルの定義の明確化や・・・	文言整理	
	6	6	(東京都立産業技術高等専門学校について) (4つ目の・) ・キャリア支援センターを中心として、キャリア支援体系を構築し、女子学生向けに女性技術者としてのキャリアプランをテーマとした座談会を実施するなど、キャリア支援を充実させたこと も 評価できる。	(4つ目の・) ・キャリア支援センターを中心として、キャリア支援体系を構築し、女子学生向けに女性技術者としてのキャリアプランをテーマとした座談会を実施するなど、キャリア支援を充実させたこと は高く 評価できる。	分科会での評価変更を踏まえ追記	
	7	7	3 法人の業務運営及び財務運営について	(2つ目の・) ・首都大の教育・研究組織の 再編成について 、学長・副学長・各部局長を中心とした議論を進め、最終案を取りまとめたことは評価できる。	(2つ目の・) ・首都大の教育・研究組織の 改革を進めた 。学長・副学長・各部局長を中心に 学内において議論を重ね、丁寧なプロセスを経た上で、組織の再編成の 最終案を取りまとめたことは評価できる。	分科会での議論を踏まえ修正
	8			(7つ目の・) ・外部資金獲得額が増加しており、自己収入確保の努力が認められる。一方で、寄附金については、成果が十分とは言えず、目標とする水準、そのための方策を 明らかにした 上で、その結果をどう評価するか明らかにする必要がある。	(7つ目の・) ・外部資金獲得額が増加しており、自己収入確保の努力が認められる。一方で、寄附金については、成果が十分とは言えず、目標とする水準、そのための方策を 示した 上で、その結果をどう評価するか明らかにする必要がある。	文言整理
	9	8	4 中期計画の達成に向けた課題、法人への要望など (2つ目の・) ・公立の大学・高専として は 、今後はより地域への貢献への期待 も 強まるものと思われる。	(2つ目の・) ・公立の大学・高専として、今後はより 一層 、地域への貢献の期待が 強まる ものと思われる。	文言整理	

	No.	頁	該当箇所	大項目	評価	評価素案	評価	修正案	修正理由	
項目別評価	(首都大学東京)									
	10	10	II 1 (1) 教育の内容等に関する取組 入学者選抜	1	2	(1つ目の・) ・平成27年度の一般選抜等の結果と入学後の成績を 比較 分析するとともに、入試制度検討部会に提供して、学部・系等での入試改革の検討に寄与した。	2	(1つ目の・) ・平成27年度 入試 の一般選抜等の結果 や 入学後の成績 分布 を分析するとともに、入試制度検討部会に提供して、学部・系等での入試改革の検討に寄与した。	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正	
	11	11	II 1 (2) 教育の実施体制等に関する取組 教育の質の評価・改善	4	2	(1つ目の・) ・授業の 評価 改善の結果を生かして、好事例をまとめた「授業改善ハンドブックvol.1」を発行し、全教員に配布した。素晴らしい試みであり、全学的な教育改善に大いに役立つもので評価できる。	2	(1つ目の・) ・授業改善 アンケート の結果を生かして、好事例をまとめた「授業改善ハンドブックvol.1」を発行し、全教員に配布した。素晴らしい試みであり、全学的な教育改善に大いに役立つもので評価できる。	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正	
	12	12	II 2 (1) 研究の内容等に関する取組 研究の内容等	13	2	(3つ目の・) ・研究プロジェクトに対して集中的に資源投資した。その効果を検証するために中間報告会などを開いて、進捗状況を確認している。	2	(3つ目の・) ・ 新大都市リーディングプロジェクト基金を活用し 、研究プロジェクトに対して集中的に資源投資した。その効果を検証するために中間報告会などを開いて、進捗状況を確認している。	業務実績報告書の記載に合わせて文言追加	

第2回公立大学分科会における業務実績評価(素案)からの修正案

No.	頁	該当箇所	大項目	評価	評価素案	評価	修正案	修正理由	
項目別 評価	13	13	II 2(2) 研究実施体制 等の整備に関 する取組 研究実施体制 等の整備	14	2	(3つ目の・) ・優秀な女性大学院生に対して研究奨励賞を授与する制度を設け、5名を表彰し女性若手研究者の支援に <u>審査した。</u>	(3つ目の・) ・優秀な女性大学院生に対して研究奨励賞を授与する制度を設けて5名を表彰し、女性若手研究者の支援に <u>つなげた。</u>	文言整理	
	14		II 3(1) 都政との連携	15	2	(2つ目の・) ・パラリンピック大会開催を機に、障がい者スポーツに対する理解を深めるため、 <u>講義科目の新設や体験プログラムの実施に協力している。</u>	(2つ目の・) ・パラリンピック大会開催を機に、 <u>障害者スポーツに対する理解を深めるため、正課科目を新設するとともに、体験プログラムの実施に協力している。</u>	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正	
	15	13	II 3(2) 社会貢献に関 する取組 地域貢献等	17	2	(1つ目の・) ・地域金融機関との連携により、 <u>大学教員が講師の人材育成講座を開催し、後継者養成に貢献している。</u>	(1つ目の・) ・地域金融機関との連携により、 <u>首都大の教員等が講師の人材育成講座を開催し、都市型農業に従事する後継者養成に貢献している。</u>	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正	
	16					(2つ目の・) ・学長裁量枠研究を中心に、特別講座を企画・開講し、学術最先端の研究成果を都民に直接紹介した。都民の理解を得るために重要な企画である。	(2つ目の・) ・ <u>傾斜的研究費(全学分)</u> 学長裁量枠研究を中心に、特別講座を企画・開講し、学術最先端の研究成果を都民に直接紹介した。 <u>首都大が取り組む研究に対し、</u> 都民の理解を得るために重要な企画である。	文言整理	
	(都立産業技術高等専門学校)								
	17	16	IV 1(1) 教育の内容等 に関する取組 教育課程・教育 方法	29	2	(2つ目の・) ・体系的キャリア支援として、低学年からキャリア形成の意識を促す取組を行っている。低学年学生の進路に関する悩みの解消や女子学生の女性技術者としてのキャリアプランに大いに役立っており、評価できる。	1	(2つ目の・) ・体系的キャリア支援として、低学年からキャリア形成の意識を促す取組を行っている。低学年の学生の進路に関する悩みの解消や女子学生の女性技術者としてのキャリアプランに大いに役立っており、 <u>高く</u> 評価できる。	分科会での評価変更を踏まえ追記
	18	17	IV 3(1) 社会貢献等 に関する取組 都政との連携に 関する取組	34	2	(1つ目の・) ・東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた車椅子利用者対応の計画を立て、実施体制を構築した。荒川区の中学生との協働は、地域連携としても意味がある。	2	(1つ目の・) ・東京2020オリンピック・パラリンピック <u>競技大会</u> を見据えた車椅子利用者対応の <u>区内マップ作成</u> の計画を立て、実施体制を構築した。荒川区の中学生との協働は、地域連携としても意味がある。	業務実績報告書の記載に合わせて文言追加
	(法人運営等)								
	19		V 1 組織運営の改 善に関する取組 組織の定期的な 検証	38	2	(1つ目の・) ・教育・研究組織の <u>再編成について</u> 、学長・副学長・各部署長を中心とした議論を進め、教育研究審議会 <u>で決定の上</u> 、経営審議会に諮り、再編成後の組織構成、入学定員及び教員定数の最終案を取りまとめた。	2	(1つ目の・) ・ <u>首都大の教育・研究組織の改革を進めた。</u> 学長・副学長・各部署長を中心に <u>学内において議論を重ね、丁寧なプロセスを経た上で</u> 、教育研究審議会や経営審議会に諮り、再編成後の組織構成、入学定員及び教員定数の最終案を取りまとめた。	分科会での議論を踏まえ修正
	20	18	V 1 組織運営の改 善に関する取組 職員人事	40	2	(1つ目の・) ・加速する国際化に対応して、研修の実施、海外研修プログラムの見直し等、組織として職員の <u>語学力向上</u> に取り組んだ。より本格的に取り組むべき課題であるため、今後の取組に期待する。	2	(1つ目の・) ・加速する国際化に対応して、 <u>実用英語</u> 研修の実施、海外研修プログラムの見直し等、組織として職員の <u>国際化</u> に取り組んだ。より本格的に取り組むべき課題であるため、今後の取組に期待する。	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正
	21		V 1 組織運営の改 善に関する取組 各センター組織 の機能強化	41	2	(1つ目の・) 産学公連携センターに、 <u>従来の知財、法務に加えて</u> 、コンプライアンス係を新設して、各組織からの相談にワンストップで対応できる相談体制を整えた。	2	(1つ目の・) 産学公連携センターに <u>コンプライアンス係を新設して</u> 、知財、法務、 <u>契約、コンプライアンスなどの業務に関して</u> 、各組織からの相談にワンストップで対応できる相談体制を整えた。	文言整理
	22	19	VI 2 経費の節減	44	2	(3つ目の・) ・ICT環境の整備にも <u>積極的な取組が見られる。</u>	2	(3つ目の・) ※削除	大項目42 業務執行の効率化の評定説明に、同趣旨でかつ具体的な記載があるため。
	23	21	VIII 3(2) 法人倫理	51	2	(2つ目の・) ・セクハラ・アカハラに対する取組として、相談員研修の <u>実施</u> や教職員・ <u>学生に対する研修</u> を引き続き行い、...	2	(2つ目の・) ・セクハラ・アカハラに対する取組として、相談員研修や教職員に対する研修の <u>実施、学生へのガイダンス</u> における説明を引き続き行い、...	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正
24	VIII 4 国際化		52	2	(1つ目の・) ・都市外交人材育成基金を <u>活用し</u> 、19名の留学生を受け入れるとともに、21名に学位を授与した。また、 <u>修了生を対象にした同窓会を開催するなど</u> 、ネットワーク <u>づくりと都市外交の目的が遂行されつつある。</u>	2	(1つ目の・) ・ <u>首都大において</u> 、都市外交人材育成基金 <u>事業として</u> 、19名の留学生を受け入れるとともに、21名に学位を授与した。また、 <u>留学生同士、留学生と首都大教職員とのネットワークの構築に取り組んでいる。</u>	業務実績報告書の記載に合わせて文言修正	